

報道関係各位

伊藤忠商事株式会社

## 食の商品企画・開発領域におけるDX支援サービス『FOODATA』の提供開始について

伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 COO：石井敬太、以下「伊藤忠商事」）は、データ活用ソフトウェア・サービスを提供するウイングアーク1st株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員 CEO：田中潤）、食の味覚・香り・食感等の解析を手掛ける株式会社味香り戦略研究所（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小柳道啓）、消費者購買データの分析を手掛ける電通リテールマーケティング（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：岩崎克彦）と業務提携し、食の商品企画・開発領域におけるDX支援サービス『FOODATA』の提供を開始いたします。

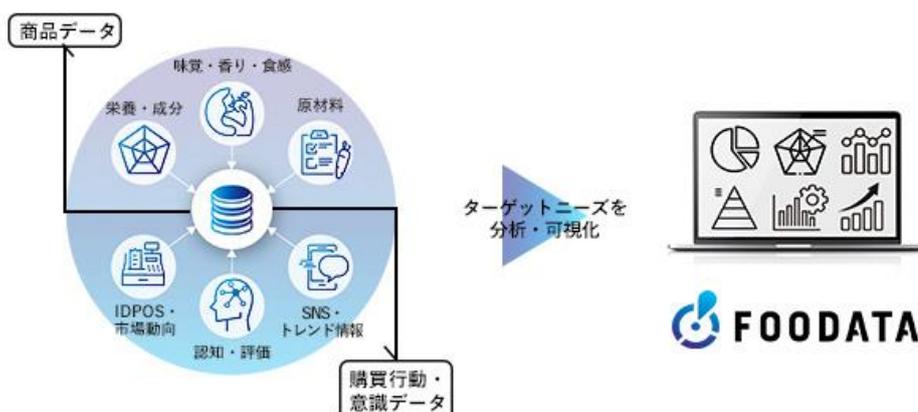
昨今、消費者ニーズの多様化が加速し、商品サイクルの短縮と食のパーソナライズ化が進み、商品企画・開発への期待値が高まる一方で負荷も増大しています。また、フードロスの問題が顕在化する中、消費者の需要起点でバリューチェーンを再構築する重要性が高まっています。こうした状況下、ターゲットニーズを的確に捉えた商品をいかに素早く市場に提供できるかが、企業競争力の源泉となり、そのためには「勘と経験」をデータで裏付け、意思決定の精度とスピードを高めることが不可欠となります。

伊藤忠商事では、このような動向に着目し、食品企業の商品企画・開発プロセスにおけるデータの有効活用を支援するサービスとして、『FOODATA（フーデータ）』を開発しました。

FOODATAは、味・栄養・原材料等の食品に関する「モノデータ」と、ID-POS・意識・ロコミ等の消費者の行動・嗜好に関する「ヒトデータ」を掛け合わせ、その分析結果をダッシュボードで可視化できるデータ分析ツールです。開発過程では、メーカー・卸・小売業等、約五十社・二百名超の企画・開発・マーケティング・MD担当者にご協力いただき、現場の声を反映させた機能を追究しました。『FOODATA』は、商品企画・開発プロセスの主要な取組課題であった、①「勘と経験」の裏付け、②データ分析作業の短縮、③データ取得コストの削減を実現し、効率的にアイデアを検証できる環境を提供することで、食品企業の商品企画・開発力の向上をサポートします。

伊藤忠商事は、『FOODATA』を起点に、商品拡販・原料調達・システム開発等の幅広いソリューションを提供し、顧客企業のビジネス拡大を共に実現するパートナーとしての役割をさらに強化するとともに、本サービスの食以外の領域への展開も検討して参ります。

本取組を皮切りに、食のバリューチェーン上に散在するデータの収集・統合・活用のためのデータプラットフォーム構築を推進し、データ・デジタル技術に対する企業間格差を縮め、食品業界全体のDX推進・バリューチェーンの価値向上に貢献して参ります。



&lt;サービス URL&gt;

<https://www.foodata.jp>